

# アサガオの観察

7月3日(金)

1年生の生活科、育てているアサガオの観察です。大きく成長し、はちの支柱にみごとにつるが伸びています。



もう花が咲いているはちもあります。子どもたちは、成長した葉やつぼみの様子を観察して記録します。「次に咲きそうなのがわかった!」どうしてそう思うの?と担任は問いかけています。「だって、つぼみの下の方が白くなっているから」「先の方は色がついとる」

こうした発見となぜそう思うかの理由を言ってみる。経過の観察で分かたり、図鑑で分かたり。

伸ばしたいのは主体性。自分たちの発見や知りたいことを広げる工夫をしています。



「これアサガオの仲間じゃと思う」  
なんで?  
「だって花の形ようにとるもん」

これは、アサガオの観察ではありません。はちの影にいた大きなトノサマガエルを発見。カエルは植え込みに隠れました。子どもたちは、「観察したい!」と言いましたが、カエルも身を守るため、奥でじっとしてました。



## 1年生

遠くからの観察になりました。